

防災で連携確認

南町紫神社前商店街

支援のNPOが訪問

のグルメを持ち寄ってにぎわいや交流の場づくりにつなげる復興グルメF-1大会を企画した。

同商店街はF-1大会運営事務局を担い、つながりがあるほか、定期的に行っている市民への食料品配布でもAMD Aから支援を受

けている。今回はコロナ禍で3年ぶりに関係者4人が来市し、復興の様子を視察したほか、今後の連携について意見交換した。

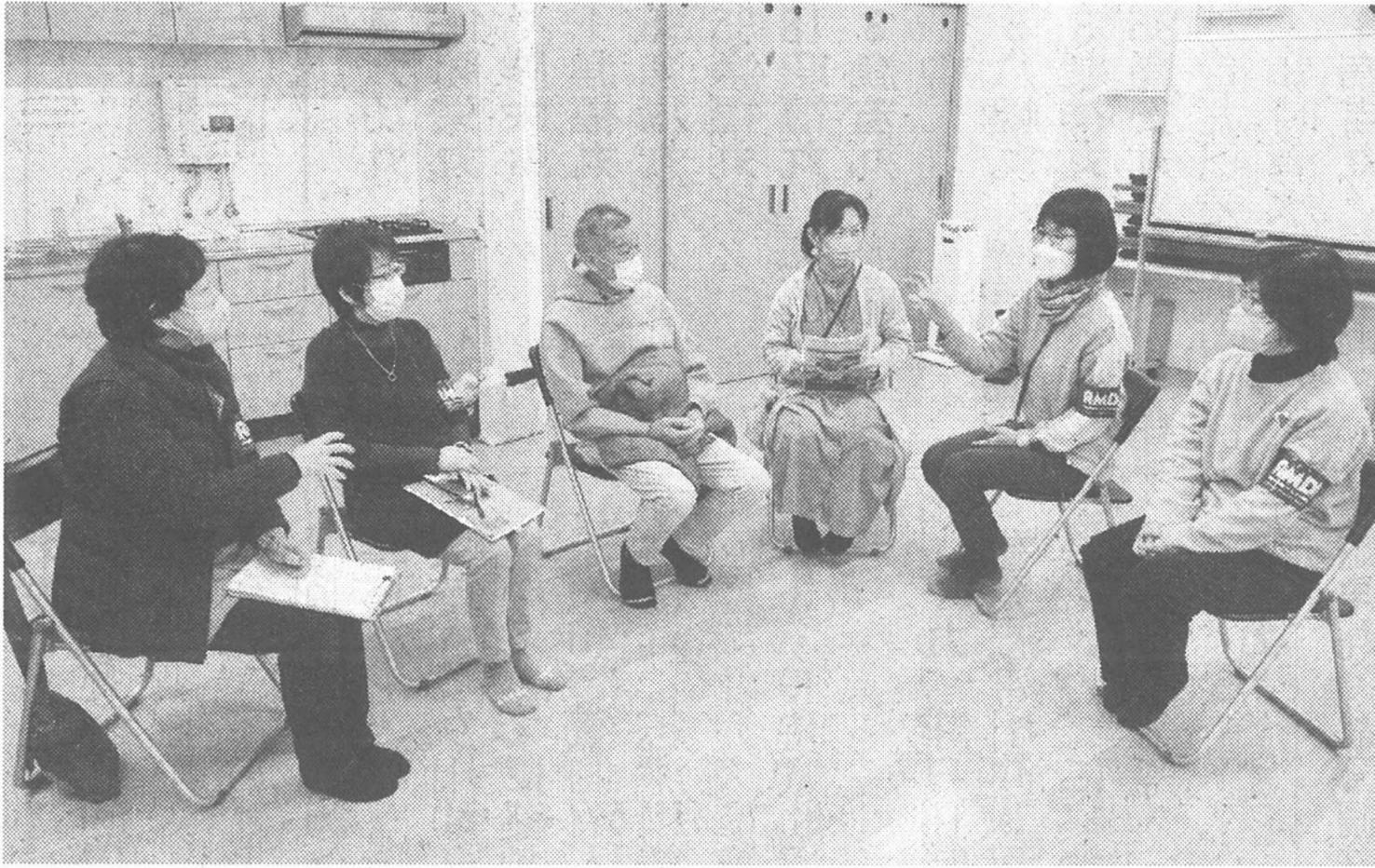
視察で復興の進捗(しんちよく)を確認したAMD A理事の難波比加理さん(62)は「皆さんの被災経験や

教訓を、次に予想される南海トラフの防災に生かしたい」と話し、防災を通じた商店街との連携強化を求めた。

商店街で11～18日にAMD Aの活動パネル展を行うことも報告した。

気仙沼市など東日本大震災の被災地で支援活動を行っている岡山市の認定NPO法人「AMD A」(菅波茂理事長)が1日、支援先の南町紫神社前商店街を訪れ、関係者と懇談した。

AMD Aは国際医療ボランティア団体で、地震直後から同市をはじめ、被災地で避難所の医療支援を展開。その後、宮城、岩手、福島



AMD Aと商店街の関係者が懇談